

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

1. 実施した計画の基本的な事項

(1) 基礎情報

ア. 対象地域

構成市町村等名	甲斐市						
地域内総人口（人）	76,333						
地域総面積（km ² ）	71.95						
地域の要件	その他（詳細は下記）						
地域の要件がその他の場合は具体的に記載	その他人口増加の著しい等上記の地域と同等以上に雑排水対策を推進する必要があると認められる地域						
構成市町村に一部事務組合等が含まれている場合、当該組合の状況							
組合名称（設立年月日）							
組合を構成する市町村							

イ. 計画実施期間

開始年月日	平成31年4月1日
終了年月日	令和6年3月31日
計画期間	5年

(2) 対象地域における取組みに関する事項

ア. ごみ処理の広域化・施設の集約化の実施状況

確認した都道府県の広域化・集約化計画の名称	

イ. プラスチック資源の分別収集及び再商品化に係る実施内容

実施済の場合	実施地域	
	実施年度	
	実施方法	
	上記が④もしくは⑤の場合、その詳細	
実施しない地域		
プラ要件化対象事業の実施		
備考		

ウ. 対象地域における一般廃棄物処理有料化の実施状況

有料化導入状況	
上記が④の場合、その詳細	
未導入の構成市町村名	
有料化導入に向けた検討状況 ※全ての構成市町村で導入済の場合は記載不要	

エ. 対象地域における災害廃棄物処理計画の策定状況

策定状況	
策定済の構成市（計画の名称）	
未策定の構成市（策定予定時期）	
備考	

2 目標の達成状況

(一般廃棄物の処理)

減量化、再生利用に関する指標		現状	目標	実績	
		令和〇〇年度	令和6年度	令和▲▲年度	実績/目標
①総人口（人）					
排出量	事業系ごみ排出量（トン）				0%
	生活系ごみ排出量（トン）				0%
	1人1日当たりのごみ排出量（g/人日）	0	0	0	0%
	その他排出量（集団回収等）				0%
	総排出量（トン）	0	0	0	0%
	1人1日当たりの排出量（g/人日）	0	0	0	0%
再生利用量	総資源化量（トン）				0%
	総排出量に占める総資源化量の割合（%）	0	0	0	
最終処分量	埋立最終処分量（トン）				0%
	総排出量に占める埋立最終処分量の割合（%）	0	0	0	
エネルギー回収量	年間の発電電力量（MWH）				
	年間の熱利用量（GJ）				
特記事項					

※ 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、（実績の割合-現状の割合）/（目標の割合-現状の割合）を記載。

(生活排水の処理)

生活排水処理に関する指標		平成30年度現状		令和5年度目標		令和5年度実績	
		人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
処理形態別人口	公共下水道	57,246人	75.7%	60,790人	81.9%	60,194人	78.9%
	農業集落排水施設等	1,224人	1.6%	502人	0.7%	1,117人	1.5%
	合併処理浄化槽等	8,837人	11.7%	6,463人	8.7%	8,122人	10.6%
	小計：汚水衛生処理人口	67,307人	89.0%	67,755人	91.3%	69,433人	91.0%
	単独処理浄化槽等	8,286人	11.0%	6,453人	8.7%	6,900人	9.0%
	非水洗化人口	人	0.0%	人	0.0%	人	0.0%
	小計：未処理人口	8,286人	11.0%	6,453人	8.7%	6,900人	9.0%
	合計：総人口	75,593人	100.0%	74,208人	100.0%	76,333人	100.0%
し尿・汚泥の量	汲取りし尿量						
	浄化槽汚泥量						
	合計	キロリットル		キロリットル		キロリットル	

3 目標達成に向けた施策状況

目標指標	目標達成への施策状況
ア. 一般廃棄物の排出量に関する事項	
イ. 一般廃棄物の再生利用量に関する事項	
ウ. 一般廃棄物の最終処分量に関する事項	
エ. 一般廃棄物のエネルギー回収量に関する事項	
オ. 処理形態別人口に関する事項	令和元年から令和5年度までの5か年で公共設置型の浄化槽を11基設置している。
カ. し尿・汚泥の量に関する事項	
その他	

4 目標の達成状況に関する評価

大前提として、生排計画の策定が10年前であることから、当時の見込みと実績の人口増減の傾向がかなり異なっている。それを踏まえて、公共下水道の普及は順次行ってきたが、浄化槽から下水道への接続者数が当初想定より低く、かつ公共下水道未共用地への転入者が多かったことから、目標を満足できなかったと推測する。 農落排水及び単独浄化槽についても、当初想定よりも農落排水・単独浄化槽地域からの自然減（死亡）及び転居者が少なかったことから目標値を満足できなかったと推測する。 ただし、人口増加を想定できていなかった中で、汚水処理衛生人口が0.3%及ばないものの増加していることから目標実現に向けて進捗はしている。
--

（都道府県知事の所見）

※令和6年3月31日までに承認された地域計画については、なお従前の様式にて提出できるものとする。